



あふれた水の直撃避ける

中川村田島の前沢川右岸。天竜川の合流点にも近い一帯の集落では、整然と積まれた石垣が目につく。道路の両側の石積み、敷地を囲むように積み上げられた石は、上流から運ばれてきたものなのだろうか。前沢川ではかつて洪水や土石流が頻発し、下流右岸はたびたび被害に見舞われてい

⑬

お志茂の水除け 中川村

伊那谷遺産 第1部

た。「お志茂の水除け」はそんな場所に造られた。「大百姓だった責任として、田んぼを守るために築いたと聞いている」と話すのは屋号「お志茂」の当主で神職の松村健悟さん(42)。船形の石積みは、屋敷というよりも、下流側に広がる「田島たんぼ」と呼



ばれる水田を守るため、せきを造って水を分け、前沢川からあふれた水の直撃を避けたという。道路の拡幅や街路灯設置

のために、石積みの一部に手が加えられてきたが、前沢川の方角に真っすぐ向いた船のへさきのような部分には、今も昔の面影が残っている。

(文・倉田高志、絵・片桐美登)

第1部おわり



QRコードから
事務所HPへ
天上事へ

平成25年11月5日掲載
長野日報 / 1面